

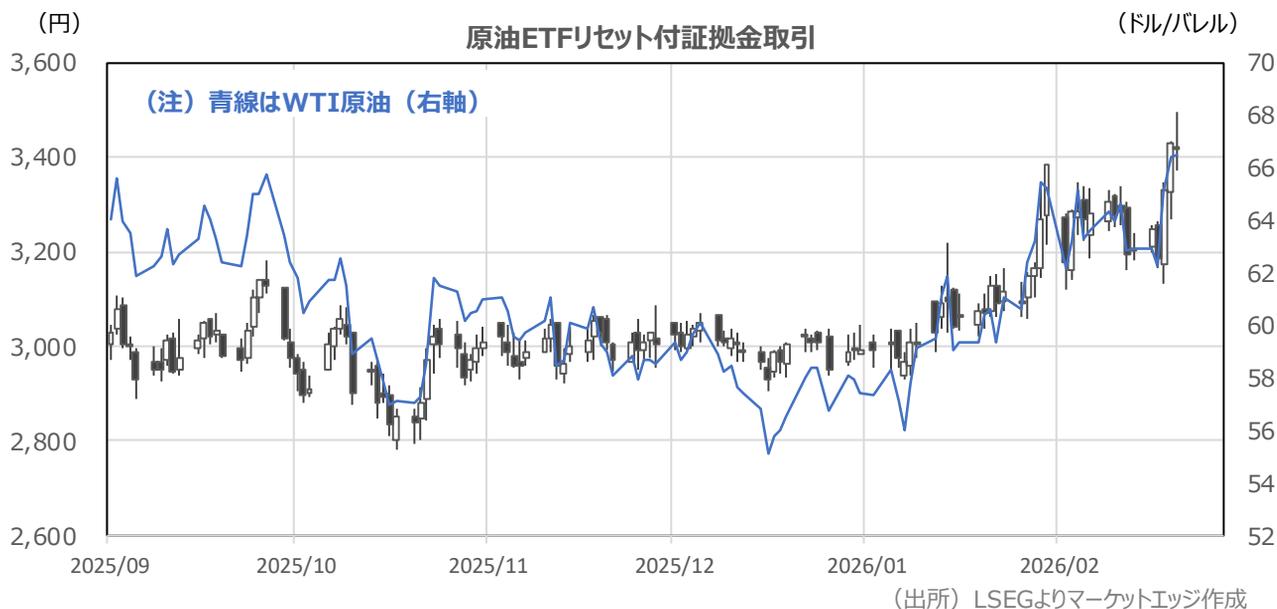
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/02/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 年初来高値更新、米国とイランの軍事衝突を警戒

NY原油先物相場は、1バレル=67.03ドルまで値上がりし、年初来高値を更新する展開になった。週前半は新規売買材料が乏しく、持高調整の売りが優勢になった。2月17日には米国とイランの間で核問題を巡る2回目の協議が行われたが、特に緊張感を高めるような動きはみられず、61.87ドルまで下値を切り下げた。しかし、2月18日以降は複数のメディアが米国とイスラエルが協力してイランに対する攻撃に踏み切る可能性を報じたことで、原油相場は上昇に転じた。

トランプ米大統領は2月19日、イランとの協議について最長で10～15日と期限を切った。このため、最短で3月上旬にも軍事衝突が発生する展開を織り込む動きが優勢になった。トランプ大統領は合意の可能性にも言及しているが、米政府内では核問題で大幅な進展を得るのは難しいとの慎重な見方が勢いを増しており、2025年6月に続く軍事衝突が基本シナリオとして織り込まれたことが、原油高に直結した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月13日時点）は、原油が前週901万バレル減、ガソリンが321万バレル減、石油精製品が457万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

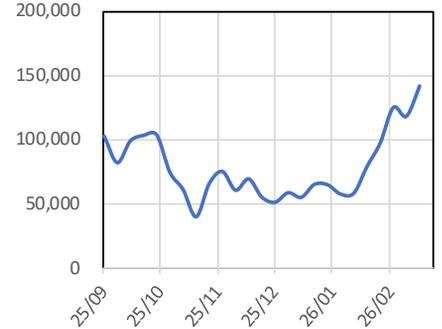
## イラン情勢に強く左右される展開、軍事紛争のリスク織り込むか

イラン情勢が中心テーマとなる地合が続く。トランプ米大統領が交渉期限を区切ったことで、マーケットは米国とイスラエルがイランに対する攻撃に踏み切る展開を基本シナリオとしている。このまま緊張感を高めていく動きがみられると、70ドルに迫る展開になろう。月内に軍事衝突が発生する可能性は低いが、売りポジションの保有は警戒される地合が続きやすい。米国とイランの動向に加えて、メディア報道などに注目したい。

一方、2月26日には米国とイランの間で3回目の協議が予定されている。米国側は、核問題解決に向けてイラン側からの「提案」を期待しているが、実際に「提案」が行われるのか、行われるとすればどのような内容になるのかは、不透明感が強い。今回の協議の結果次第では、トランプ大統領がイランに対する軍事行動を決断する可能性がある。トランプ政権は、イランの核兵器開発の完全放棄を交渉ラインとして設定しているが、イランがそれに応じるのかは不透明感が強い。仮に合意への期待感が高まれば60ドル水準まで急反落するリスクがある一方、2025年6月以来となる軍事衝突に発展するとの見方が強まれば70ドル水準まで一段高になる見通し。イラン情勢次第で大きく揺れ動く展開になろう。

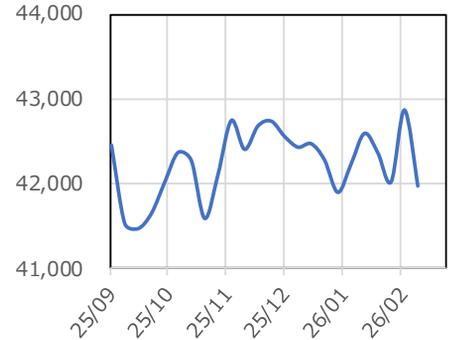
2025年6月は、当初はイスラエル、その後に米国がイラン核施設に対する攻撃に踏み切った。原油相場は60ドル前半から急伸し、6月13日に77.62ドル、23日に78.40ドルまで上昇した後、月末には65ドル水準まで反落した。限定的な軍事衝突の場合は短期間で材料出尽くしとなる可能性が高い。一方、大規模かつ長期の軍事紛争に発展し、イランがホルムズ海峡の封鎖といった強硬策を打ち出すと、原油相場の変動も激しくなる可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



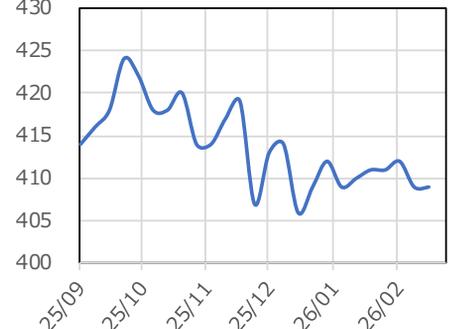
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

